

「墨田区地域福祉計画（後期）中間のまとめ」についてのご意見の概要と区の考え方

意見の概要	区の考え方
<p>地域福祉計画改定は区のリーダーシップが必要で、具体的に何をどうするのかを5W1Hでプロジェクトしなければ実現できないと思う。</p>	<p>地域福祉計画は、主として墨田区の地域福祉に関する基本的な理念や方向性を示しており、具体的に何をどうするかは、児童、障害者、高齢者等それぞれ個別分野の計画で示すことにしています。</p>
<p>これからは、子ども、障害者、高齢者に関わらず、地域という視点から、福祉の問題を考えていくことが重要。地域には、地域の問題について、考えたり、取り組んでいる方も多くいるので、行政は、地域の人たちがつながっていけるよう、共に学び、考える場の提供やそのための仕組みづくりに取り組んで欲しい。住民と区の職員が同じテーブルにつき、同じ目標にむかって考えていくことが理想だと思うので、職員は、地域に出向き、地域の輪に参加してもらいたい。</p>	<p>地域福祉計画の基本方向5では、「学びあい・ふれあい・支えあいのしくみをつくる」として、区民の地域活動への参加の仕組みづくりや地域の中での人と人とのつながり、区民と区との協働の仕組みづくりをつくることを示しています。今後、これらの仕組みづくりをすすめるとともに、区の職員も積極的に、地域に出向き、区民と協働でまちづくりを進めていきます。</p>
<p>墨田区が子どもの笑顔があふれるまちになれば、子どもを通して地域につながりも生まれ、活気のある豊かなまちになると思う。今後は、子育てがしやすく、子どもがはつらつと豊かに育つまちにするためにはどうしたらよいかという視点で区全体で福祉施策のあり方を組み立てていくべきだ。</p>	<p>地域福祉計画の基本方向2では「子育て・子育てを支えるしくみをつくる」として、地域の子育て力・教育力の育成と協働を推進するとともに、関係機関や区民とのネットワークにより子育て・子育てのネットワークを構築することにしております。そういった活動の中で、地域のつながりが再生され、活力あふれるまちをつくることができると考えております。</p>